

上神明 天祖神社 報

第188号 平成25年7月1日



形代流し 於 白子海岸

社頭所感

天祖神社宮司 齋藤篤信

富士山 世界文化遺産に

日本を象徴する富士山が世界遺産に登録されました。富士山の文化、山に神を感じる信仰的な価値が高く評価されたのです。

私達日本人は、古来自然環境に神霊を感じ多くの神々を信仰して来ました。日本の最高峰で美しい姿の富士山への信仰は、その代表なのです。

私達の祖先は、人間の生命の維持するためには不可欠であるだけでなく米を主食とする日本人にとって、水田の灌漑用水は特別な存在でありました。

山は水を蓄え、水は山から流れ出る水の流れをつかさどるのが山の神であったのです。

水と山の神との深い関係は、古い山への信仰を残す神社を訪れると実感出来ます。

富士山は山麓に豊富な水を恵む神の山であります。その富士山への信仰に世界遺産として、価値が認められたのであります。

富士山が世界遺産に登録を機に、私達は古代以来生まれて来た自然と神との関係について多くの日本人は、再認識するべきであります。

夏越大祓神事

初めて斎行する茅の輪くぐり

当社では今年より、どなたでも参列出来る茅の輪くぐりの神事を執り行うことになりました。六月三十日午後六時より大祓式が執り行われ、多くの方々のご参列者の中茅の輪をくぐって、各自の諸々の禍祓い無病息災を祈りました。

茅の輪作りは、神輿連合会有志の皆様方により、ご奉仕下さいました。暑い中の作業でしたが、大変立派な素晴らしい茅の輪が出来上がりました。

皆様の信心なるご尽力に心より厚く御礼申し上げます。

七月五日(金)に白子海岸へ形代流しの神事が行われます。

※茅の輪くぐりは、七月七日(日)七夕までくぐれます。



平成二十五年

蛇窪大祭執行について

七月二十二日氏子総代会議を開催し、今年度の例大祭予算案等につきご協議いたします。

今年は、当社鎮座六百九十年、上下分村三百年、そして巳年にあたる記念すべき大祭であります。十年毎に行われる連合渡御の中で、今年は、のんき通りに上下の大神輿十二基が集結して、分村三百七十年記念式典が行われます。氏子の皆様には、この大祭に多大なる御理解、御協力賜りますようお願い申し上げます。

荏原消防団第四分団

ポンプ操法競技大会

めでたく優勝

去る六月十六日(日)に行われたポンプ操法競技大会に於いて、荏原消防団第四分団は昨年に続き優勝の栄に浴しました。謹んで祝意を表します。

さらに来年優勝すれば、三連勝となり東京都の大会に出場出来るそうです。

今後の貴団の益々のご精進を心から祈念申し上げます。
宮司

月次祭

当社では毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。当日は御神前にて祭儀を厳修し参列者一同で「大祓詞」を奉唱し、次いで社務所にて「朝粥」を食し歓談いたします。

★五月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、柵木ヒサ様、井淵良子様、高須みちよ様、富田登美子様、吉川トミ様、野秋くに様

★六月一日に参列なさった方々のご芳名

矢羽直公様、柵木ヒサ様、井淵良子様、高須みちよ様、富田登美子様、吉川トミ様、柴田よし子様、白土政枝様

≪神社のツイッター、フェイスブック是非ご覧ください≫

神道のはじまり

日本人は、春の「花見」や「花祭り」を今でも大切にしていますが、これらの行事が稲と深くかかわっていることに気のつく人はほとんどいません。

古来「花」といえば「桜」をさすほど、日本人は桜を花の代表として、こよなく尊重してきました。それは、桜の花が「占い」として人の生活と深く結びついていたことに由来します。花見とは「花卜」といつて、その年の咲く花をみて、一年の豊凶を占う習俗をいつた言葉です。昔、村人たちは春の一日、山の花、野の花を占いに山に出かけ、多くは桜の咲き方によって秋の稔りも「かくあれ！」と村人たちはそう祈ったのです。

生命の言葉(七月)

人の一寸 我が一尺

日本のことわざ

「人の一寸は見えるが我が一尺は見えぬ」とも言う。一寸、一尺は、欠点の大小について言っている。

人の欠点なら、ちよつとしたものでも見えるが、自分の欠点は大きなものでも自分には見えないものだという意味。

解説 金子武雄「日本のことわざ」より

六十二回

伊勢神宮式年遷宮に学ぶ

「伊勢神宮」「お伊勢さん」「お伊勢さま」などと呼ばれて親しまれている、正式な名称は「神宮」です。

「神宮」とは、皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)の二つの正宮、摂社、末社、所管社等の総計百二十五のお社の総称です。

式年遷宮とは、決められた一定の年限のことを「式年」といい、神宮では二十年ごとに旧殿から新殿へと大神をお遷し申し上げることを言います。

第四十代 天武天皇がお定めになり、第四十一代 持統天皇の御代に第一回の遷宮が行われ、今年 平成二十五年には、第六十二回の遷宮が行われます。

式年遷宮は「皇家第一の重事、神宮無双の大宮」といわれますが、それは天皇陛下の思し召しによって始まります。今回の第六十二回は、平成十六年に陛下より北白川道久大宮司に「次期遷宮のご準備 大宮司以下よろしく務めるように」とのお言葉を賜り、これを受けてお伺いを立て、聴許となったときより始まりました。そして今年二月、天皇陛下には第六十二回の神宮式年遷宮の遷御を執り行う日時を御治定にされました。

各地区敬老クラブ境内清掃奉仕

毎月十日は各地区老人クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月も各地区より皆様が集まり境内清掃奉仕をなさってくださいました。誠に有難うございます。

五月十日奉仕の方々のご芳名

豊町五丁目 皆川アイ子様、磯 康江様
二葉四丁目 荒木 綾子様、田母神英子様
豊町六丁目 松下 咲代様、細田 良子様
戸越六丁目 沢田 ノブ様、中村登美代様
二葉三丁目 渋井 ミツ様、有路キヨエ様

六月十日奉仕の方々のご芳名

豊町六丁目 立島 雄子様、鈴木 光様
戸越六丁目 押野 登様、諏訪 知子様
二葉四丁目 中村タミ子様、柿本真由美様
二葉三丁目 鈴木 伸子様、岸 寿江様
豊町五丁目 佐藤 京子様、渡辺キミエ様

〒一四二—〇〇四三

東京都品川区二葉四—四—十二

天祖神社々務所

TEL 〇三(三七八二)一七一

FAX 〇三(三七八二)一七一